

講義レジュメ

講師：堀 薫夫 (大阪教育大学)

期日：2013年12月5日 (木)

内容・テーマ

博物館と成人・高齢者の学習の特性

～成人・高齢者へのアプローチからニーズの創出を考える～

0. 博物館の利用者について：だれが利用しているのか？
 1. 生涯学習をめぐる問題
 - (1) 学校教育と社会教育・成人教育・生涯学習（教育）のちがい
 - (2) 直接的教育と間接的教育、そして教えない教育
 2. 成人・高齢者の特性を活かした学習支援の理論
 - (1) 2つの教育論：系統主義的教育と経験主義的教育
 - (2) ジョン・デューイの教育学
 - (3) エデュアード・リンデマンの成人教育学：生活の意味の探求
 - (4) マルカム・ノールズのアンドラゴジー論：ペダゴジーとアンドラゴジー
 - (5) 状況的学習論：成人教育から成人学習へ、正統的周辺参加と拡張的学習論
 - (6) ジェロゴジーと教育老年学：高齢者の特性を活かすこと
 3. 成人・高齢者の学習ニーズ
 - (1) 2つの学習ニーズ：欠乏欲求と成長欲求
 - (2) フロー体験と自己実現ニーズ
 - (3) 高齢者に特有の教育的ニーズ
 - (4) 回顧的ニーズと人間関係再構築へのニーズ
 4. 成人・高齢者の特性をふまえた博物館の実践
 - (1) 回想法の組み込み：昭和日常博物館（北名古屋市）
 - (2) 高齢者ボランティアの受け入れ
 - (3) 歴史を伝える場としての博物館
 5. 今後の課題

(参考文献)

堀薫夫編『教育老年学と高齢者学習』学文社、2012年。

堀薫夫『生涯発達と生涯学習』ミネルヴァ書房、2010年。

堀薫夫編『教育老年学の展開』学文社、2006年。

マルカム・ノールズ『成人教育の現代的実践』（堀薫夫・三輪建二監訳）鳳書房、2002年。

マルカム・ノールズ『成人学習者とは何か』（堀薫夫・三輪建二監訳）鳳書房、2013年。

エデュアード・リンデマン『成人教育の意味』（堀薫夫訳）学文社、1996年。